



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月6日
福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所
コード番号 7441 URL <http://kk-misumi.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
問合せ先責任者(役職名) サポート本部長 (氏名) 末吉 茂樹 (TEL) 099-260-2213
四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	46,888	△4.1	551	19.2	722	1.5	445	△8.8
26年3月期第3四半期	48,898	10.5	462	△33.6	711	△23.8	487	△14.2

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 839百万円(25.0%) 26年3月期第3四半期 671百万円(14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	73.33	—
26年3月期第3四半期	80.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	36,320	14,950	40.6
26年3月期	35,058	13,967	39.3

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 14,756百万円 26年3月期 13,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—		
27年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,533	△1.6	903	5.2	1,167	△5.7	610	16.1	100.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	6,100,503株	26年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	30,669株	26年3月期	30,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	6,069,834株	26年3月期3Q	6,069,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に、景気は緩やかな回復基調にありましたが、消費税率の引上げに伴う影響の長期化等から、個人消費の落ち込みが見られました。また、当社グループの営業基盤である南九州においても、夏場の天候不順の影響に加え、消費税率の引上げ等による節約意識の高まりから、消費マインドの低下が見られるなど、経営環境としては厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、販売力の強化を図るとともに、その他事業においては、不振部門の立直しや接客・サービス力の強化を図りました。また、夏の総力祭では「クーポン付BOOK」を配布し、冬のクーポンキャンペーンではクーポン付チラシの配布に加え、懸賞を付けるなど、お客様へ各事業におけるお得な情報や商品購入における特典等を発信することで、新規顧客の獲得と他事業店舗への相互送客を図り、事業全体における収益性の向上に努めました。さらに、将来に向けて地域社会への貢献と収益基盤の強化を目的として、環境にやさしいクリーンエネルギーである小水力発電所の建設を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は468億88百万円（前年同四半期比4.1%減）、経常利益は7億22百万円（前年同四半期比1.5%増）、四半期純利益は4億45百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、SSではENEOSカードやTカードの新規発券を増やすとともに、クーポンキャンペーンによる燃料油の増販や安定した収益を獲得するために、積極的な提案活動による油外商品の拡販に取り組みましたが、原油価格の下落に伴う販売価格の低下等がありました。

ガス部門においては、原材料費調整制度の期間を見直し、タイムリーな価格提示を行うことで、収益の改善を図るとともに、ガス関連商品の購入者への「Tポイント付与」の認知度を上げることで、新規顧客の開拓に努めました。LPガス輸入価格の下落に伴う販売価格の低下等がありました。

以上の結果、売上高は372億9百万円（前年同四半期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は4億29百万円（前年同四半期比21.3%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、季節商材やキャラクター商材の販売を強化するための施策や売場レイアウトの変更を実施するとともに、インパクトのあるクーポンを配布し、新規顧客の獲得を図るなど、集客力の向上に努めました。また、利便性の向上を目的として11月にTSUTAYAメディアミスマ南港店を地域最大級のレンタルショップへ改装致しました。さらに、オプシァミスマでは、施設一体となったイベントの開催や設備面での安全性の強化を図るなど、幅広い層のお客様から支持される商業施設づくりに努めました。

自動車部門においては、新型車の増販を図るとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と売れ筋商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門においては、新しいCM等による新築やリフォームの認知度向上を図るとともに、地震に強く、省エネ・創エネ設備を取り入れたスマートハウスの構造見学会や完成見学会を定期的実施するなど、新しい暮らしの提案による受注獲得に努めました。

以上の結果、売上高は56億84百万円（前年同四半期比9.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1億97百万円（前年同四半期比14.9%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、メニュー構成の見直しや品質管理とホスピタリティの強化を図るなど、お客様満足度の向上に努めるとともに、クーポンの配布や期間限定商品の販売等による新規顧客の開拓と来店頻度のアップに努めました。

ミネラルウォーター部門においては、新規取引先の獲得や配送コストの圧縮に努めるとともに、宅配キャンペーン等による定期購入件数の拡大を図りました。また「高牧の森の水」を使用したプレミアム焼酎「三寿美（ミスマ）」の販売を大都市圏の限定した飲食店にて開始し、水ブランドの向上を図っております。

以上の結果、売上高は39億94百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は3億40百万円（前年同四半期比97.9%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて12億61百万円増加し、363億20百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や投資有価証券、退職給付に係る資産(固定資産の投資その他の資産「その他」)が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億79百万円増加し、213億70百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少した一方、借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて9億82百万円増加し、149億50百万円となりました。これは主に、四半期純利益に加え、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を期首利益剰余金に加減したこと等により、利益剰余金が増加したことと、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年11月7日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産(固定資産の投資その他の資産「その他」)が505,546千円増加し、利益剰余金が322,428千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,921,904	5,046,022
受取手形及び売掛金	6,621,040	6,028,846
商品及び製品	2,835,828	2,772,920
仕掛品	35,181	98,542
原材料及び貯蔵品	46,992	44,437
その他	589,381	555,975
貸倒引当金	△344,992	△333,375
流動資産合計	13,705,338	14,213,369
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,913,699	3,720,928
土地	12,315,596	12,347,850
その他(純額)	1,023,561	996,057
有形固定資産合計	17,252,857	17,064,836
無形固定資産	325,468	257,326
投資その他の資産		
その他	3,902,472	4,911,996
貸倒引当金	△127,508	△127,082
投資その他の資産合計	3,774,963	4,784,913
固定資産合計	21,353,289	22,107,076
資産合計	35,058,628	36,320,446
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,999,140	2,168,851
短期借入金	6,880,000	6,265,000
1年内返済予定の長期借入金	1,799,910	2,196,630
未払法人税等	346,679	130,585
賞与引当金	332,320	217,280
その他	1,482,295	1,932,753
流動負債合計	13,840,345	12,911,100
固定負債		
長期借入金	5,428,435	6,340,578
役員退職慰労引当金	756,500	767,000
退職給付に係る負債	150,539	—
その他	915,307	1,351,528
固定負債合計	7,250,781	8,459,106
負債合計	21,091,127	21,370,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,993,272	10,578,678
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	13,287,109	13,872,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,777	926,526
退職給付に係る調整累計額	△31,599	△42,308
その他の包括利益累計額合計	494,177	884,217
少数株主持分	186,213	193,504
純資産合計	13,967,501	14,950,239
負債純資産合計	35,058,628	36,320,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	48,898,278	46,888,369
売上原価	40,291,503	38,440,239
売上総利益	8,606,775	8,448,130
販売費及び一般管理費	8,144,306	7,896,912
営業利益	462,468	551,217
営業外収益		
受取利息	3,342	3,356
受取配当金	29,841	31,988
受取賃貸料	112,849	108,447
その他	278,897	189,131
営業外収益合計	424,930	332,923
営業外費用		
支払利息	105,180	95,760
賃貸費用	44,202	47,208
その他	26,052	18,390
営業外費用合計	175,435	161,360
経常利益	711,963	722,780
特別利益		
固定資産売却益	4,697	11,963
特別利益合計	4,697	11,963
税金等調整前四半期純利益	716,660	734,744
法人税、住民税及び事業税	133,804	184,967
法人税等調整額	91,170	102,033
法人税等合計	224,975	287,000
少数株主損益調整前四半期純利益	491,685	447,744
少数株主利益	3,904	2,670
四半期純利益	487,781	445,073

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	491,685	447,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179,884	400,749
退職給付に係る調整額	—	△9,064
その他の包括利益合計	179,884	391,685
四半期包括利益	671,570	839,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667,665	835,113
少数株主に係る四半期包括利益	3,904	4,315

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,658,225	6,280,179	3,959,872	48,898,278	—	48,898,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	64,109	85,291	23,080	172,482	△172,482	—
計	38,722,335	6,365,471	3,982,953	49,070,760	△172,482	48,898,278
セグメント利益	545,510	231,984	171,926	949,421	△486,952	462,468

(注) 1 セグメント利益の調整額△486,952千円には、セグメント間取引消去8,598千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△495,551千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	37,209,177	5,684,193	3,994,998	46,888,369	—	46,888,369
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25,199	50,755	20,645	96,601	△96,601	—
計	37,234,377	5,734,948	4,015,644	46,984,970	△96,601	46,888,369
セグメント利益	429,578	197,304	340,205	967,088	△415,871	551,217

(注) 1 セグメント利益の調整額△415,871千円には、セグメント間取引消去7,171千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△423,042千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。